

2026年3月3日  
公益財団法人 日本英語検定協会

大手総合商社・大手金融機関・大手製薬メーカーが活用するビジネス英語テスト

## **CEST Business / GCAS® と連動した 公式 AI トレーニングアプリを 2026 年 4 月より提供開始**

公益財団法人 日本英語検定協会（東京都新宿区、理事長：松川孝一）は、ビジネス英語テスト「**CEST Business**（セスト ビジネス）」および「**GCAS**（ジーキャス）」に対応した公式 AI トレーニングアプリの第 1 弾を、**2026 年 4 月**より提供開始いたします。本アプリは、検定の評価基準と学習プロセスを接続し、「スコアのための英語」から「成果のための英語」への転換を支援するものです。今後、トレーニング領域および機能を順次拡充してまいります。

### **【市場課題：AI 時代に求められるビジネス英語力】**

グローバルビジネスの現場では、英語を「読める・聞ける」だけでは成果にはつながりません。取引先との交渉、経営データに基づくプレゼンテーション、海外拠点との意思決定など、求められるのは「**英語で仕事を動かす力**」です。

生成 AI の進展により「読む・聞く」力の相対的価値が低下する中、グローバル競争の激化、海外赴任の前倒し、日本企業の発信力不足といった構造的課題を背景に、企業現場では「**英語で判断し、交渉し、意思決定する力**」の可視化が急務となっています。

一方で、多くの企業ではリーディングとリスニングのみを測定するテストが英語力指標として定着しており、スコアが高くても実務で十分に話せない・書けない・交渉できないといった課題が顕在化しています。本アプリは、こうした「インプット偏重」からの転換を支援するものです。

### **【対応テストの特徴と導入実績】**

CEST Business および GCAS の導入企業は、累計 900 社を超え、**大手総合商社、大手金融機関、大手製薬メーカーグループ**をはじめとするグローバル企業において、多くのビジネスパーソンにご受験いただいております。

主な活用ニーズは以下のとおりです。

- ・ 発信力を含む 4 技能を前提とした昇進・昇格条件の設定
- ・ 海外取引先との的確な交渉・契約業務への対応力評価
- ・ 海外赴任候補者の選抜および事前トレーニング
- ・ 外資系企業との取引・協業に必要な英語力の証明
- ・ 海外子会社との円滑なコミュニケーション体制の構築

## ■ CEST Business

Cambridge English が開発したビジネス英語 **4 技能**オンラインテスト。Reading・Listening・Speaking・Writing を国際基準 CEFR で評価します。Reading & Listening は「コンピュータを用いたアダプティブテスト (CAT) 」形式を採用し、受験者のレベルに応じて問題難易度が変化。Speaking・Writing は Cambridge English により厳正に採点を行っております。

<https://www.eiken.or.jp/cestbusiness/>

- Reading & Listening : 2,900 円 (税込)
- Speaking : 6,900 円 (税込)
- Writing : 3,900 円 (税込)
- Reading & Listening + Speaking + Writing (全技能セット) : 11,900 円 (税込)

## ■ GCAS

ネイティブ面接官との 1 対 1 で行う、15 分間の対面型**スピーキング**テスト。英語スピーキング力 (ELS : 表現の幅・正確さ・流暢さ・やりとり・一貫性) に加え、**ビジネスパフォーマンススキル (BPS : 発表力・分析力・交渉力)** を独立して評価します。面接官が反論・追加質問を行う双方向のインタラクションがあり、「英語でビジネスを動かせるか」を測定することを目的としたテストです。

<https://www.eiken.or.jp/gcas/>

- 6,900 円 (税込)

## 【トレーニングアプリの特長】

両テストの構成および評価基準に準拠し、以下の機能を順次展開します。本アプリは、公式テストの採点基準に準拠した「**評価と学習の一体型プラットフォーム**」として、企業の人材育成と人事評価を直結させます。

### <共通機能>

#### 1. CEFR レベル別・ビジネス特化型 Can-do カリキュラム

会議・交渉・プレゼンテーションなどの実務シナリオに基づく目標設定を行うとともに、学習パスを可視化します。

#### 2. 自社課題・興味分野に応じた AI パーソナライズ学習

学習者が自身の属する組織の課題や興味のある業務分野を自由入力することで、その領域に特化した英語学習コンテンツを AI が生成します。実務に関連する語彙・表現の学習を支援します。

#### 3. 学習履歴の振り返り機能

過去の学習記録を時系列で確認し、自身の成長や弱点の変化を振り返りながら学習を進めることが可能です。

#### 4. 管理者向けダッシュボード (HR 連携対応)

上司や人事部門が、社員の学習進捗・達成レベル・取り組み状況をリアルタイムでモニタリングできるダッシュボードを提供します。研修効果の把握および人事施策検討の参考情報として活用いただけます。

## <CEST Business 対応アプリの特長>

### 5. 4 技能総合トレーニング

Eメール・報告書作成の Writing 演習、アダプティブ型 Reading・Listening 演習を網羅し、テスト本番の CAT 形式に近い環境で実力を養成します。

### 6. AI によるスピーキング・ライティングの即時フィードバック

CEST Business の Speaking テスト構成（インタビュー・音読・プレゼンテーション・ロールプレイ等）や Writing テスト構成（報告書や Eメールの作成等）に準拠した実践演習と、語彙・正確さ・流暢さ・論理構成に関する AI 即時評価を提供します。

## <GCAS 対応アプリの特長>

### 7. AI との双方向ディスカッション・トレーニング

GCAS の 3 パート構成（インタビュー・プレゼンテーション・ロールプレイ）に準拠し、AI が面接官役として反論・追加質問を行うインタラクティブな対話演習を提供。交渉力・説得力を実戦形式で強化します。

### 8. BPS（ビジネスパフォーマンススキル）フィードバック

発表力・分析力・交渉力の 3 観点で個別フィードバックと学習アドバイスを提供し、英語力とビジネススキルの両面から改善を支援します。

## 【想定利用シーンと企業メリット】

海外赴任候補者の事前トレーニング、グローバル人材育成研修、昇進・昇格要件としての CEFR 達成支援、採用時のビジネス英語力底上げなど、幅広い人事施策と連携して活用いただけます。

管理者ダッシュボードを通じて、**社員の英語力を「学習データ」と「評価データ」の両面からリアルタイムに把握**でき、研修投資対効果の可視化やタレントマネジメントへの活用が可能です。

### 【公益財団法人 日本英語検定協会 コメント】

当協会は、ビジネス英語評価を通じて、日本企業の持続的な国際競争力向上に貢献することを使命としています。

生成 AI の進展により情報アクセスが高度化する今、真に問われるのは「英語で意思決定し、価値を創出できる力」です。本アプリは、評価基準に準拠した学習環境を提供することで、企業における人材育成と客観的評価を接続する新たな基盤となることを目指します。

今後も社会的ニーズに即した評価・学習の高度化を推進してまいります。

## 【今後の展開】

2026 年 4 月の第 1 弾提供を皮切りに、対応テストのカバー領域およびトレーニング機能を順次拡充してまいります。

将来的には、HR データ連携基盤の拡張、生涯学習アカウントとの接続、デジタル証明書の発行など、**企業向け AI 教育プラットフォーム**としての機能を強化し、企業のグローバル人材戦略を支えるビジネス英

語教育のデファクトプラットフォームの構築を推進してまいります。  
法人向け導入支援プログラムの詳細は、追ってご案内いたします。

### 【サービス概要】

対応テスト	CEST Business / GCAS
提供開始	2026年4月（第1弾） ※機能は段階的に拡充する予定です。
対象	法人（企業研修・人材育成施策への活用）
対応端末	iOS / Android / ウェブブラウザ
料金体系	法人向け契約プラン（利用人数に応じた課金体系） ※契約期間・導入規模に応じて選択可能なプランもご用意予定です。 詳細はお問い合わせください。

※1「GCAS」およびそのロゴは、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標または商標です。

※2「CEST Business」は Cambridge English Skills Test Business の通称です。Cambridge English Skills Test Business およびそのロゴは、Cambridge English の登録商標または商標です。

#### 本件に関するお問い合わせ先

・公益財団法人 日本英語検定協会 ビジネステスト事務局（biz\_eiken@eiken.or.jp）